

令和4年度 本牧原地域ケアプラザPDCAシート_公表用 (事業計画書、事業報告書、事業実績評価)

— 総括表 —		
◆ 事業計画		
<input type="checkbox"/> 地域の現状と今後の方向性 コロナ禍で地域活動が停滞し、住民の気力体力の低下が危惧されている。引き続き地域に出向き、情報収集や共有に努め、住民間の繋がりがりや支えあいについて可視化していくと同時にそれぞれが抱える課題を共有し、課題解決に向けて5職種が連携し取り組みを行っていく。		
<input type="checkbox"/> 今年度の重点的な取組		
新規	継続	— 具体的な取組内容 —
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	自主事業参加者には適宜連絡をし、参加者の状況把握に努め積極的に参加できるよう必要に応じて援助していく。 住民主体の活動に繋がるよう働きかけ、新しい社会資源創出に努める。参加者の高齢化に伴う問題については、包括と連携を取りながら対応し、理解を得られるよう支援していく。また、障がいの分野においても事業を計画し、関わりを少しずつ増やしていく。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	エンディングノート・終活について啓発事業を区や区内包括と共催で取り組む。地域向けリーフレットを活用し、より身近な成年後見制度の啓発に取り組む。広く多世代に向けて終活についての広報を行う終活フェアを開催する。地域で始まる移動サロンなどで特殊詐欺の啓発を行う。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	ケアプラザの役割を地域住民の方に更に理解していただき、相談しやすい環境を作っていく。窓口相談から地域ケア会議を開催し、各職種で課題の共有をしながら社会資源を作り上げていく。介護をしている人が孤立することなく、安心して地域に住み続けられるように集いの場を設ける。ケアマネジャーがインフォーマルサービスをプランに取り入れ、地域の方と連携が図れるよう、情報発信と啓発を続けていく。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	今ある地域の中の支えあい活動を把握し、その繋がりが途絶えないよう働きかける。またコロナ禍で停滞している活動については、新しい生活様式に合わせた形で、活動再開に向け支援していく。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	本牧原エリアではオーラルフレイルが課題となっていることから、地域の歯科と協力し啓発していく。また、昨年度養成した健康づくりサポーターさんが活躍できるように地域で体力測定を定期的に行っていくと共にサポーターさんの健康維持・増進にも努める。体力測定会だけでなく、フレイルについて学べるような機会をつくり、スキルについても自己流にならないように定期的に見直していく。
◆ 事業報告・事業実績評価		
<input type="checkbox"/> 振り返り 昨年に引き続き、コロナ禍の状況下、地域活動が継続していけるよう支援を行ってきた。結果、住民各々が「地域との繋がりがり」や「人との繋がりがり」の大切さを再認識し、積極的に自ら参加する姿勢が見られた。新しい生活様式を踏まえた移動サロンやスマートフォンをツールにした新しい形の交流の場の提供に取り組むことができた。またコロナによって出現した「コロナフレイル」については、健康サポーターの体力測定会を通じて、各自の心身の機能の状態を把握することができ、健康意識の向上に繋がっている。		
<input type="checkbox"/> 区からのコメント 移動サロンやスマートフォンの活用など新たな交流の支援や、地域住民の健康維持・増進に取り組んでいます。また、コロナ禍で停滞していた活動が再開できるよう、区役所など関係機関とも連携し、地域活動の支援やつながりの創出に努めています。今後も、地域住民の関心やニーズをつかんで関係を築き、地域の担い手の発掘・支援を続けてください。		

令和4年度本牧原地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	<p>(1)法人で定められている「苦情解決規則」に基づいて、地域ケアプラザにおいても苦情受付担当者、苦情解決責任者を設置して、利用される方からのご意見及びご要望、苦情などに対応するとともに再発防止に努めます。</p> <p>(2)法人では公正・中立の立場を重んじた、斡旋、調整を行う第三者委員を設置し、適切な苦情解決に向けての体制を整備し、取り組みます。</p> <p>(3)館内に「ご意見箱」を設置し、いつでもどなたからでも何かあればご意見等を受け付けるようにしています。</p> <p>(4)事業ごとにお客様アンケートをいただき、改善、発展につなげます。</p> <p>(5)包括支援センターにおいては、新規のケースを地域の居宅介護事業所の際、新規依頼表を作成し、公平になるよう努めています。</p>	<p>(1)介護サービス提供中などに事故に至らなくても気が付いた点について「ヒヤリハット報告書」に記録してミーティングや会議の場で報告し、原因の究明と対応を検討し職場内で注意喚起や徹底をするとともに介護技術向上の研修を通して、事故の未然防止に努めます。</p> <p>(2)所内会議等において、他の事業所などでの事故の事例や緊急対応マニュアルを確認するなど、事故防止に関する研修を組み入れ、職場における危機管理意識の向上に努めます。</p> <p>(3)毎月、衛生委員会でリスクマネジメントについての報告、検討をし、産業医からのアドバイスを受けています。</p> <p>(4)地域ケアプラザ内全職員に対し、年1回の「個人情報保護研修」と共に、法人で作成した「プライバシーの尊厳と保護に関するマニュアル」による人権研修を実施し職員の意識を高めます。</p> <p>(5)法人のサービス向上課がまとめている法人全体の中の情報漏えいの事故があった際には職員会議、デスタッフ会議等で共有します。</p>
実績	<p>(1)法人で定められている「苦情解決規則」に基づいて、地域ケアプラザにおいても苦情受付担当者、苦情解決責任者を設置して、利用される方からのご意見及びご要望、苦情などに対応するとともに再発防止に努めました。</p> <p>(2)法人では公正・中立の立場を重んじた、斡旋、調整を行う第三者委員を設置し、適切な苦情解決に向けての体制を整備し、取り組みました。</p> <p>(3)施設内に「ご意見箱」を設置し、いつでもどなたからでも何かあればご意見等を受け付けるようにしました。</p> <p>(4)事業ごとにお客様アンケートをいただき、改善、発展につなげました。</p> <p>(5)包括支援センターにおいては、新規のケースを地域の居宅介護事業所の際、新規依頼表を作成し、公平になるよう努めていました。</p>	<p>(1)介護サービス提供中などに事故に至らなくても気が付いた点について「ヒヤリハット報告書」に記録してミーティングや会議の場で報告し、原因の究明と対応を検討し職場内で注意喚起や徹底をするとともに介護技術向上の研修を通して、事故の未然防止に努めました。</p> <p>(2)所内会議等において、他の事業所などでの事故の事例や緊急対応マニュアルを確認するなど、事故防止に関する研修を組み入れ、職場における危機管理意識の向上に努めました。</p> <p>(3)毎月、衛生委員会でリスクマネジメントについての報告、検討をし、産業医からのアドバイスを受けて日々の事故防止に努めました。</p> <p>(4)地域ケアプラザ内全職員に対し、年1回の「個人情報保護研修」と共に、法人で作成した「プライバシーの尊厳と保護に関するマニュアル」による人権研修を実施し職員の意識を高めました。</p> <p>(5)法人のサービス向上課がまとめている法人全体の中の情報漏えいの事故があった際には職員会議、デスタッフ会議等で共有しました。</p>

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	<p>(1)介護予防プランが滞ることのない体制を維持します。また、ご本人が、自ら主体的に介護予防、健康維持に取り組めるよう、個別性のあるプランを作成し、要介護状態とならないように努めます。</p> <p>(2)地域ケアプラザ自主事業や、地域でのサロン、社会資源(インフォーマルなサービスも含む)も取り入れた計画を作成します。また、社会資源(インフォーマルサービスを含む)を計画に取り込めるようにケアマネジャーにも周知していきます。</p> <p>(3)介護予防プラン、介護予防ケアマネジメント委託先の居宅介護支援事業所をはじめ、関係事業所、地域との連携を密にしていき、包括ケアシステムの構築を念頭におきながら住み慣れた地域に生活し続けられるよう働きかけていきます。</p> <p>(4)横浜市訪問型短期予防サービスを積極的に利用し、介護保険に繋がりにくい方へも支援していきます。</p> <p>(5)生活支援コーディネーターや地域活動交流コーディネーターと連携し、集いの場など介護予防が行える拠点を創出していくと共にフレイルについて地域住民へ啓発していきます。</p> <p>(6)健康づくりサポーターさんの活動を支援すると共に、新たなメンバーも創出し地域住民が主体となって健康づくりができるように支援していく。</p>	<p>○自立支援、認知症支援、医療連携○</p> <p>(1)在宅生活されているご本人とご家族の意向を尊重して、ケアプランを作成します。</p> <p>(2)ご本人の生活歴を踏まえ、住み慣れた地域でその人らしい生活ができるように介護保険以外の町内の交流会や 地域ケアプラザにおける自主事業などを紹介していきます。</p> <p>(3)退院後も在宅生活が安心して送れるように 家族、医療機関、地域包括支援センター、在宅サービス事業者などと連携を図り、随時プランの見直しをしていきます。</p> <p>(4)認知症になっても地域の見守りや理解により、在宅生活が継続できるように日頃から主治医、民生委員、近隣の方々と行いう情報交換、勉強会、研修会に参加して自己研鑽に努めるとともに地域とのネットワークづくりを推進します。</p> <p>(5)地域ケアプラザ内の居宅介護支援事業所であるメリットを活かして困りごとや課題を 地域の社会資源の発掘や活用に役立てるため 生活支援コーディネーターに伝え 連携をとっていくよう努めます。</p> <p>(6)コロナ禍の中、感染防止対策を行いながら介護保険制度における制度の説明や具体的なサービスの利用等について、お客様への丁寧な説明を心掛けます。</p>
職員体制	<p>保健師 1名 社会福祉士 1名 主任ケアマネジャー 1名 予防プランナー 1名</p>	<p>常勤専従 3名 常勤兼務 1名 非常勤専従 1名</p>
契約者数	【契約者数】174件	【契約者数】152名

3 通所系サービス事業

	通所介護 (介護予防・第1号・通所介護)	認知症対応型通所介護 (介護予防・通所介護)	地域密着型通所介護 (介護予防・通所介護)
目標	<p>【通所介護】今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めます。プログラムがお客様の意欲の向上と身体機能の維持向上につながるよう取り組みます。三密を回避しながら季節の参加型イベント、行事食、曜日レクリエーション、個別ニーズに合わせた機能訓練を充実させます。</p> <p>【第1号通所事業】今年度は、個別機能訓練・運動器機能向上訓練やお客様の生活環境に即した訓練等、個別性の高いプログラムを充実させます。</p>	<p>【認知症対応型通所介護】今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めながら、お客様の意欲の向上と身体機能の維持向上につながるよう、個別機能訓練を充実させます。認知症の進行をゆるやかにし、穏やかに日々がお過ごしになれるよう、園芸レクリエーションや、みどりあふれる安心できる環境作りに努めます。</p>	
実施体制	<p>【実施日数】 週7日 【提供時間】 9:30～16:35 【定員】 〈通所介護・第1号通所介護〉34名</p>	<p>【実施日数】 週7日 【提供時間】 9:30～16:35 【定員】 〈認知症対応型通所介護〉12名</p>	
利用料金・実費負担	<p>〈通所介護〉</p> <p>【1割負担】</p> <p>(要介護1) 703円 (要介護2) 829円 (要介護3) 961円 (要介護4) 1,092円 (要介護5) 1,225円</p> <p>● サービス提供体制強化加算Ⅲ 7円 ● 入浴加算(Ⅰ) 43円 ● 中重度者ケア体制加算 49円 ● 個別機能訓練(Ⅰ)イ 60円 ● 個別機能訓練(Ⅱ) 22円 ● 科学的介護推進体制加算 43円</p> <p>【2割負担】</p> <p>(要介護1) 1,405円 (要介護2) 1,658円 (要介護3) 1,921円 (要介護4) 2,183円 (要介護5) 2,449円</p> <p>● サービス提供体制強化加算Ⅲ 13円 ● 入浴加算(Ⅰ) 86円 ● 中重度者ケア体制加算 97円 ● 個別機能訓練(Ⅰ)イ 120円 ● 個別機能訓練(Ⅱ) 43円 ● 科学的介護推進体制加算 86円</p> <p>【3割負担】</p> <p>(要介護1) 2,107円 (要介護2) 2,486円 (要介護3) 2,882円 (要介護4) 3,274円 (要介護5) 3,673円</p> <p>● サービス提供体制強化加算Ⅲ 20円 ● 入浴加算(Ⅰ) 129円 ● 中重度者ケア体制加算 145円 ※ 食費負担 750円 ● 個別機能訓練(Ⅰ)イ 180円 ● 個別機能訓練(Ⅱ) 65円 ● 科学的介護推進体制加算 129円 ※ 介護職員処遇改善加算(Ⅰ)として利用単位数の100分の59に相当する単位数の料金が加算されます。 ※ 介護職員等特定処遇改善加算(Ⅱ)として利用単位数の1000分の10に相当する単位数の料金が加算されます。</p>	<p>〈認知症対応型通所介護〉</p> <p>【1割負担】</p> <p>(要介護1) 1,080円 (要介護2) 1,197円 (要介護3) 1,315円 (要介護4) 1,432円 (要介護5) 1,550円</p> <p>● サービス提供体制強化加算Ⅱ 7円 ● 入浴加算(Ⅰ) 44円 ● 個別機能訓練(Ⅰ) 30円 ● 個別機能訓練(Ⅱ) 22円 ● 科学的介護推進体制加算 44円</p> <p>【2割負担】</p> <p>(要介護1) 2,159円 (要介護2) 2,394円 (要介護3) 2,629円 (要介護4) 2,864円 (要介護5) 3,099円</p> <p>● サービス提供体制強化加算Ⅲ 13円 ● 入浴加算(Ⅰ) 87円 ● 個別機能訓練(Ⅰ) 59円 ● 個別機能訓練(Ⅱ) 44円 ● 科学的介護推進体制加算 87円</p> <p>【3割負担】</p> <p>(要介護1) 3,238円 (要介護2) 3,591円 (要介護3) 3,943円 (要介護4) 4,296円 (要介護5) 4,648円</p> <p>● サービス提供体制強化加算Ⅲ 20円 ● 入浴加算(Ⅰ) 131円 ● 個別機能訓練(Ⅰ) 88円 ● 個別機能訓練(Ⅱ) 66円 ● 科学的介護推進体制加算 131円 ※ 介護職員処遇改善加算(Ⅰ)として利用単位数の1000分の104に相当する単位数の料金が加算されます。 ※ 介護職員等特定処遇改善加算(Ⅱ)として利用単位数の1000分の24に相当する単位数の料金が加算されます。</p>	
職員体制	<p>〈第1号通所介護〉</p> <p>● 負担割合 (1割負担)</p> <p>要支援1(週1回程度) 1,793円 要支援2(週1回程度) 1,793円</p> <p>● サービス提供体制強化加算Ⅲ 26円 要支援2(週2回程度) 3,675円</p> <p>● サービス提供体制強化加算Ⅲ 52円 ● 運動器機能向上加算 242円 ● 科学的介護推進体制加算 43円</p> <p>(2割負担)</p> <p>要支援1(週1回程度) 3,585円 要支援2(週1回程度) 3,585円</p> <p>● サービス提供体制強化加算Ⅲ 52円 要支援2(週2回程度) 7,350円</p> <p>● サービス提供体制強化加算Ⅲ 103円 ● 運動器機能向上加算 483円 ● 科学的介護推進体制加算 86円</p> <p>(3割負担)</p> <p>要支援1(週1回程度) 5,377円 要支援2(週1回程度) 5,377円</p> <p>● サービス提供体制強化加算Ⅲ 78円 要支援2(週2回程度) 11,025円</p> <p>● サービス提供体制強化加算Ⅲ 155円 ● 運動器機能向上加算 724円 ● 科学的介護推進体制加算 129円 ※ 食費負担 750円 ※ 介護職員処遇改善加算(Ⅰ)として利用単位数の1000分の59に相当する単位数の料金が加算されます。 ※ 介護職員等特定処遇改善加算(Ⅱ)として利用単位数の1000分の10に相当する単位数の料金を相当する単位数を算定します。</p>	<p>〈認知症対応型通所介護〉</p> <p>管理者1名、生活相談員4名、デスタッフ16名、運転手10名、看護職員兼機能訓練指導員7名、調理員6名</p>	
契約者数等	<p>【延べ利用者数】9531 【契約者数】117</p>	<p>【延べ利用者数】2738 【契約者数】26</p>	<p>【延べ利用者数】 【契約者数】</p>

令和4年度「本牧原地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	12,056,340		12,056,340	18,309,120	△ 6,252,780	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）	857,130		857,130	487,800	369,330	
雑入	106,140	0	106,140	81,880	24,260	
印刷代	65,020		65,020		65,020	
自動販売機手数料	21,120		21,120	21,120	0	
その他	20,000		20,000	60,760	△ 40,760	
その他	5,412,000		5,412,000		5,412,000	
収入合計	18,431,610	0	18,431,610	18,878,800	△ 447,190	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	12,191,340	0	12,191,340	10,352,107	1,839,233	
本俸	8,257,799		8,257,799	7,288,088	969,711	職員給与・非常勤職員給与・職員賞与
社会保険料	872,997		872,997	900,766	△ 27,769	法定福利費支出
手当計	1,279,614		1,279,614	1,934,842	△ 655,228	職員諸手当・職員通勤費・非常勤職員通勤費
健康診断費	70,474		70,474	52,529	17,945	職員健康診断・ストレスチェック
勤労者福祉共済掛金	7,500		7,500	7,506	△ 6	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	166,874		166,874	166,876	△ 2	
その他	1,536,082		1,536,082	1,500	1,534,582	
事務費	1,300,000	0	1,300,000	1,829,455	△ 529,455	
旅費	3,500		3,500	2,169	1,331	旅費交通費
消耗品費	92,602		92,602	189,003	△ 96,401	事務消耗品費
会議賄い費			0	8,080	△ 8,080	
印刷製本費	84,691		84,691	112,852	△ 28,161	インク及びパフォーマンスチャージ料
通信費	158,936		158,936	347,001	△ 188,065	切手、はがき、宅急便、電話料金、ネットワーク回線費用等
使用料及び賃借料	21,120	0	21,120	21,120	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	21,120		21,120	21,120	0	
その他			0	0	0	
備品購入費			0	0	0	
図書購入費			0	0	0	
施設賠償責任保険	15,910		15,910	12,722	3,188	傷害賠償保険他
職員等研修費	1,965		1,965	2,385	△ 420	研修研究費
振込手数料	14,750		14,750	0	14,750	振込手数料
リース料	269,774		269,774	30,325	239,449	玄関マット、会計用サーバ等、PCリース料他
手数料	37,455		37,455	47,832	△ 10,377	EBサービス手数料等
地域協力費			0	0	0	
その他	599,297		599,297	1,055,966	△ 456,669	
事業費	2,200,000	0	2,200,000	743,851	1,456,149	
運営協議会経費	42,000		42,000	0	42,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	2,158,000		2,158,000	743,851	1,414,149	
その他			0		0	
管理費	6,715,000	0	6,715,000	10,297,160	△ 3,582,160	
光熱水費	3,354,964		3,354,964		3,354,964	
清掃費	2,391,260		2,391,260		2,391,260	
機械警備費	218,253		218,253		218,253	機械警備費委託料
設備保全費	524,606	0	524,606	0	524,606	
空調衛生設備保守			0		0	
消防設備保守			0		0	
電気設備保守	135,175		135,175		135,175	電気設備委託料
害虫駆除清掃保守			0		0	
駐車場設備保全費			0		0	
その他保全費	389,431		389,431		389,431	エレベーター保守・植栽管理
共益費	225,917		225,917		225,917	ゴミ処理費用
その他			0	10,297,160	△ 10,297,160	
修繕費	474,000		474,000	438,083	35,917	予算：指定額
公租公課	1,294	0	1,294	0	1,294	
事業所税			0		0	
消費税			0		0	
印紙税	1,294		1,294		1,294	
その他			0		0	
その他	△ 4,450,024		△ 4,450,024		△ 4,450,024	
支出合計	18,431,610	0	18,431,610	23,660,656	△ 5,229,046	
差引	0	0	0	△ 4,781,856	4,781,856	

自主事業費 収入	857,130	0	857,130	487,800	369,330	
自主事業費 支出	2,158,000	0	2,158,000	743,851	1,414,149	
自主事業 収支	△ 1,300,870	0	△ 1,300,870	△ 256,051	△ 1,044,819	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	21,120	0	21,120	21,120	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	21,120	0	21,120	21,120	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和4年度「本牧原地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜包括・介護予防・生活支援＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	22,885,540		22,885,540	24,417,806	△ 1,532,266	横浜市より
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000	154,000	0	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,802,000		5,802,000	5,802,000	0	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】			0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】			0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	63,000		1,420,000	9,200	1,410,800	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代			0	8,000	△ 8,000	
自動販売機手数料			0	0	0	
その他			0	0	0	
その他	1,420,000		1,420,000	8,000	1,412,000	
収入合計	30,324,540	0	30,324,540	30,391,006	△ 66,466	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	27,230,540	0	27,230,540	30,364,425	△ 3,133,885	
本俸	18,814,239		18,814,239	17,241,150	1,573,089	職員給与・非常勤職員給与・職員賞与
社会保険料	3,386,654		3,386,654	3,700,465	△ 313,811	法定福利費支出
手当計	3,590,513		3,590,513	8,708,986	△ 5,118,473	職員諸手当・職員通勤費・非常勤職員通勤費
健康診断費	53,822		53,822	48,693	5,129	職員健康診断・ストレスチェック
勤労者福祉共済掛金	34,500		34,500	31,006	3,494	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	767,624		767,624	634,125	133,499	退職給与掛金
その他	583,188		583,188	0	583,188	
事務費	528,720	0	528,720	1,575,708	△ 1,046,988	
旅費	18,000		18,000	8,717	9,283	旅費交通費
消耗品費	99,294		99,294	112,043	△ 12,749	事務消耗品費
会議ठी費			0	0	0	
印刷製本費	56,460		56,460	56,426	34	インク及びパフォーマンスチャージ料
通信費	196,747		196,747	332,703	△ 135,956	切手、はがき、メモ便、電話料、ネットワー ク回線費等
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）			0	0	0	
その他			0	0	0	
備品購入費			0	26,765	△ 26,765	
図書購入費			0	0	0	
施設賠償責任保険	16,820		16,820	12,722	4,098	傷害賠償保険他
職員等研修費	2,125		2,125	3,860	△ 1,735	研修研究費
振込手数料	9,750		9,750	0	9,750	振込手数料
リース料	98,769		98,769	36,859	61,910	玄関マット、会計用サーバ等、PCリース料他
手数料	30,755		30,755	51,132	△ 20,377	EBサービス手数料等
地域協力費			0	0	0	
その他			0	934,481	△ 934,481	
事業費	2,011,280	0	2,011,280	865,765	1,145,515	
協力医	630,000		630,000	504,000	126,000	予算:指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	938,000		938,000	14,855	923,145	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	154,000		154,000	151,190	2,810	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	289,280		289,280	195,720	93,560	
その他			0	0	0	
管理費	1,785,000	0	1,785,000	2,571,785	△ 786,785	
光熱水費	935,347		935,347		935,347	
清掃費	671,879		671,879		671,879	
機械警備費	31,434		31,434		31,434	機械警備費委託料
設備保全費	112,869	0	112,869	0	112,869	
空調衛生設備保守			0	0	0	
消防設備保守			0	0	0	
電気設備保守	22,641		22,641		22,641	電気設備委託料
害虫駆除清掃保守			0	0	0	
駐車場設備保全費			0	0	0	
その他保全費	90,228		90,228		90,228	エレベーター保守・植栽管理
共益費	33,471		33,471		33,471	ゴミ処理費用
その他			0	2,571,785	△ 2,571,785	
修繕費	126,000		126,000	59,713	66,287	予算:指定額
公租公課	343	0	343	0	343	
事業所税			0		0	
消費税			0		0	
印紙税	343		343		343	
その他			0		0	
その他	△ 1,357,343		△ 1,357,343		△ 1,357,343	
支出合計	30,324,540	0	30,324,540	35,437,396	△ 5,112,856	
差引	0	0	0	△ 5,046,390	5,046,390	

自主事業費 収入	63,000	0	63,000	9,200	53,800	
自主事業費 支出	1,381,280	0	1,381,280	361,765	1,019,515	
自主事業 収支	△ 1,318,280	0	△ 1,318,280	△ 352,565	△ 965,715	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和4年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名: 本牧原地域ケアプラザ

年4月1日～ 年3月31日

(単位: 千円)

	科目	第1号介護予防支援・介護予防支援			居宅介護支援			通所介護・第1号通所介護			認知症対応型通所介護			
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	
収入	介護保険収入	10,124	10,377		35,959	35,156	803	106,183	101,657	4,526	44,025	46,469	-2,444	
	その他	0	0	0	1,582	1,879	-297	1,352	1,555	-203	0	0	0	
	事業・負担金収入			0			0	753		753			0	
	認定調査			0	175	531	-356			0			0	
	原案作成委託料			0	1,407	1,348	59			0			0	
				0			0			0			0	
				0			0			0			0	
	その他			0			0	599	1,555	-956				0
	収入合計(A)	10,124	10,377	-253	37,541	37,035	506	107,535	103,212	4,323	44,025	46,469	-2,444	
	支出	人件費	2,037	1,109	928	29,291	23,873	5,418	85,624	88,279	-2,655	35,439	36,747	-1,308
事務費		48	8,208	-8,160		2,138	-2,138	5,905	8,068	-2,163	2,149	2,749	-600	
事業費		13	13	0	73	86	-13	8,942	14,267	-5,325	2,807	4,846	-2,039	
管理費				0	2,201		2,201	6,936		6,936	1,925		1,925	
その他		6,444		6,444	0	0	0	524	453	71	0	0	0	
利用者負担軽減額				0			0			0			0	
消費税				0			0			0			0	
介護予防プラン委託料		6,444		6,444			0			0			0	
				0			0			0			0	
その他				0			0	524	453	71			0	
支出合計(B)	8,542	9,330	-788	31,565	26,097	5,468	107,931	111,067	-3,136	42,319	44,342	-2,023		
収支 (A) - (B)		1,582	1,047	535	5,977	10,938	-4,961	-396	-7,855	7,459	1,705	2,127	-422	

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和4年度 自主事業計画書・報告書

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）		■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることを ねらいとした事業		■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他	
---	--	---	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	女性限定 健康麻雀講座	令和4年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	女性が気兼ねなく参加でき麻雀ゲームで脳が活性化、ゆっくり楽しみながら覚えることで仲間づくりとなる。麻雀は脳の様々な部分を使い「脳トレ」効果があるので認知症、介護予防になる。	5:地域		令和4年4月5日～毎週火曜日 全30回 9時30分から11時30分 定員12名初心者女性限定 講師2名	30	336
2	手話で楽しく踊ろう!	令和3年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	手話ダンスを知り仲間づくりを支援する。インクルーシブイベントのステージに参加し活動の場を広げる。	5:地域		令和4年4月10、17日5月8、15日(全日曜日)5月29日	5	57
3	ぶらり本牧	令和2年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	コロナ禍でも本牧の街を歩いて回ることを通じて運動不足解消・健康づくりの一助とする。	5:地域		令和4年4月23日(土)～5月31日(火)	39	500
4	ペタンクルー	平成16年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	継続的に会を行うことで、転倒骨折を予防するとともに仲間作りを支援する。お体に不安がある方でもレクリエーションを楽しむ。	5:地域		毎月第1・3月曜 13:30～14:30 開催。はまちゃん体操やペタンクなどを楽しむ。毎年、区内で実施されるペタンク大会にチームで参加する。「寿和の会」より改名 講師 米山 結花	18	239
5	シニアリトミック	平成29年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	運動不足を解消し持続的に事業を行うことで仲間作りの場を提供する。主事業として開催する。	1:高齢者	5	毎月第4月曜 13:45～14:45 開催。季節イベントなどに合わせてリトミックをする。 講師 松平 光代	11	134
6	脳イキイキ教室	平成18年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	読み書き計算や、定期的な外出で認知予防をはかる。歓談コーナーを通して仲間作りを支援する。サポーターとしてボランティアを育成するとともに、卒業生をボランティア活動や次の事業に繋げる。	1:高齢者	5	毎週木曜 10:00～12:00 開催(9月・3月を除く)公文教材を使用し、サポーターが丁寧に関わりながら読み書き計算を行う。毎日行う課題もある。	41	417
7	健脳体操教室	平成16年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	認知症予防にもなる運動を取り入れ、持続的に事業を行うことで仲間作りの場を提供する。	1:高齢者	5	毎月第2・4木曜日 13:0～15:00 開催 脳に刺激を与えながら日常生活に必要な筋力を鍛える。講師 貝原 美佐子	48	730
8	シルバー体操	平成12年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	運動不足を解消し持続的に事業を行うことで仲間作りの場を提供する。普段行わないことをすることで、様々な機能への刺激を与える。	1:高齢者	5	毎月第1・3金曜 9:30～11:30 時間内2部制 開催体操やリズムに合わせての運動、フォークダンスとバラエティーな内容。講師 高橋 侑子	23	473
9	子育てサロン	平成15年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	子育て世代の親の情報交換や仲間作りの場を提供する。地域の身近な方に話を聞いてもらったり、相談することで育児不安を解消する。	4:子ども・青少年	5	毎月第3火曜 10:00～12:00まで開催。第4南部保健活動推進委員、第4南部主任児童委員、本牧根岸保健活動推進員が持ち回りで担当。ボランティアによる読み聞かせや子育てパートナーによる育児相談などあり。	12	191
10	SONGS	令和3年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域住民(特に高齢者)の閉じこもり防止し、口腔機能向上、気分転換の場とする	5:地域		毎月第4金曜 13:00～14:30 開催 講師 福田 安弘	1	24
11	サロン潮風	令和元年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域住民(特に高齢者)の閉じこもり防止し、仲間づくりを支援する。	1:高齢者		毎月第1木曜日 13:000～14:00 ボランティアによる脳トレや歌	11	127
12	こども科学捜査 体験講座	令和4年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	親子で参加し防犯や犯罪の抑止に役立つ	4:子ども・青少年		令和4年7月10日(日)10時から12時実施場所:大鳥中学校コミュニティハウス 講師 久保雅信(南区在住)	1	25
13	貸館説明会	令和元年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	施設利用について理解する	5:地域		令和4年6月19日(日)6月25日(土)10時から11時 多目的室	2	50
14	キッズ防災ランチ	令和4年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	包丁を使わず簡単おいしい調理法を体験する	4:子ども・青少年		令和4年8月23日(火)コロナ感染対策のため10月23日(日)延期	1	11
15	介護者の集い「グリーンリーフ」	令和2年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	認知症等の高齢者を介護している家族の集いの場。介護者が介護のため自宅にこもることなく、気分転換や介護負担を軽減するためのサロン。	5:地域		介護者が日頃の思いなどを語り合い、意見交換をする。 毎月第一金曜日 13:00～15:00	12	55
16	立寄処「ひだまり」	令和3年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	新型コロナ感染拡大の影響で、交流する機会が縮小され、閉じこもり気味の高齢者が増え、体力気力の低下が心配されることから、少人数で気軽に交流、また傾聴ボランティアの活動の場とする。	5:地域		毎月第四月曜日 11:00～12:00	11	14
17	HOMMOKUBASE げんきCLUB	令和2年度	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	利便性のよいところに新たな集いの場を設置。介護保険サービス適用外の高齢者の受け皿となる活動のひとつとする。	5:地域		座位で行う介護予防体操。 毎月第4火曜日13:000～14:00開催。	10	46

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）	■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業	■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他
---	---	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
18	はらっば うたごえ CLUB	令和2年度	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	新型コロナ感染拡大により交流する機会が縮小されている中、「3つの密」を避けながら自宅でも個人でも可能な歌を歌うことで、ストレス発散と健康維持に取り組むことを目的とする。	5:地域		地域のFM放送局を活用し、歌番組を流す。	12	0
19	原っぱタイム	令和3年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	ケアプラザについて広く周知すると同時にそれぞれの職種やまた役割を知ってもらう。商店街の中にあるコミュニティスペースを利用することで気軽に親しみを覚えてもらい、身近な存在に感じてもらう。	5:地域		毎月第四木曜日 10:30～12:00 街カフェ 楽(本牧1丁目)	11	24
20	フレイル予防セミナー	平成25年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	フレイルについて啓発し、健康に対する意識を高めることを目的とする。外出の機会をつくることを	1:高齢者		椅子に座ってストレッチ、コグニサイズ。 毎月第2月曜日 14:00～15:30	9	115
21	健康づくりサポーター支援	令和3年度	2:地域包括支援センター運営事業	2:発展させるねらい	昨年度健康づくりサポーターを7名養成した。毎月定例会を実施し、フレイルについて知識を深めたり、体力測定会を実施してフレイルの早期発見につとめる。	5:地域		毎月第2水曜日に定例会 13:30～14:30	11	72
22	第2回健康づくりサポーター養成講座	令和4年度	2:地域包括支援センター運営事業	2:発展させるねらい	昨年度養成した健康づくりサポーターの第2期生を募集し、体力測定ボランティアを増やすことを目的とする。	5:地域		体力測定の仕方を学び、実際に地域の老人会を対象に測定会を行い地域デビューしてもらう。 9/14, 10/12, 10/19, 10/26で開催する。	4	19
23	膝痛予防講座	令和4年度	2:地域包括支援センター運営事業	2:発展させるねらい	脚全体をケアする目的でカンガルーあしのケアという元気づくりステーションが発足したが人数が少ないことが課題であった。新規参加者獲得を目的として膝痛予防講座を実施する。	1:高齢者		膝痛予防体操とフットケア 毎月第4金曜日10:00～11:00	1	24
24	コロナフレイルに負けない身体をつくろう	令和3年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	コロナ蔓延予防として外出自粛している間にフレイルとなる人が増加した。外出も緩和されていく中でコロナフレイルを予防する必要性を伝えることを目的とする。	1:高齢者		①PTによるフレイル予防講座 ②歯科医師によるオーラルフレイル講座 ③舞台俳優によるシナプソロジーと朗読劇実施 ④管理栄養士による低栄養予防講座	4	75
25	ベルストーン本牧サロン	令和4年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	新本牧のエリアでは高齢化率が低いにも関わらず要介護3～5の認定率が高いという課題がある。高齢者住宅と交渉しお試しでサロンを開催することとなる。	1:高齢者		①運動講師による体操、コグニサイズ ②地域ボラによる体操、コグニサイズ ③歯科衛生士によるオーラルフレイル講座 ④管理栄養士による低栄養予防講座 ⑤地域ボラによる体操、コグニサイズ	5	16
26	マリハイツ スマイルサロン	令和4年度	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	錦町にあるマリハイツは築40年超の集合住宅ではあるが、住民間の交流は少ない。また高齢化率も40%を越え、寄せられる相談も深刻なものが多いことから住民間の交流と顔が見える関係づくり、ケアプラザの周知も合わせて行う。	1:高齢者	5	開催場所は団地内にあるラーメン店、講義についてはドラッグストアの薬剤師の協力で実施している。毎月第4火曜日13:30～14:30	5	52
27	はらっば文化祭	令和4年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	当間ケアプラザで活動する団体の発表の場とし、活動への意欲、やりがいにつなげていく。地域の方にはケアプラザの取り組みを知っていただく機会とする。	5:地域		11月14日～20日作品展、講座、団体発表会	1	200
28	地域の居場所づくり	令和4年度	7:共催(1と2と3)	2:発展させるねらい	①の講座では居場所の大切さや必要性を理解する。②ワークショップ・居場所のイメージを膨らませどんなことができるかみんな考えて③居場所を立ち上げの経緯や活動について学ぶ。	5:地域		R4年11月29日(火)講座①講座② R5年2月7日(火)講座③	3	67
29	ピアノで歌おう	令和4年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	ボランティアによるピアノ伴奏による歌唱季節の歌を皆で楽しむ。フレイル予防の一助とする。	5:地域		12月16日、1月20日、2月17日、3月17日13時30分	4	90
30	ペットの終活	令和4年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	本牧原エリアは犬を飼っている人の割合が高い。ペットの将来を考えるとその飼い主の終活も必要になる。保護猫活動NPOの代表と理事を講師に人とペットの終活について広く知識を得てもらう。	5:地域	1	7月17日	1	26
31	エンディングノートを書くために	令和4年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	今年度、中区の社福士会7ケアプラザ共催で行う終活シリーズ講座の一回目。まずはエンディングノートについて学んでもらう。	1:高齢者	5	7月20日	1	21
32	自分の力で特殊詐欺から身を守ろう	令和4年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	増々巧妙化する特殊詐欺から身を守るには、どうすれば良いのか。前半は演劇から学んでいただき、後半は山手警察からの実際の被害についての講話との二本立て。本牧和田地域ケアプラザとの共催事業。	1:高齢者	1	10月20日	1	31